

様式第 2 号（第 6 条関係）

意見交換会実施報告書

実施日時	令和元年 12 月 23 日（月）午前 9 時～午前 10 時		
実施場所	砺波市庄川支所 3 階 第一会議室		
出席議員	雨池委員長	今藤副委員長	嶋村委員
	島崎委員	堺委員	開田委員
参加者数	男性 3 人 女性 1 人 計 4 人 （団体等の名称 砺波市教育委員会委員 ）		
実施概要	テーマ：（1）小中学校の再編について		
	<p>【1 主な質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の再編については、市全体として、区域変更も考えられるが、慎重に判断する必要がある。 ・庄川地域や庄東地域は、小中一貫校にするメリットはあると思う。 ・35 人学級にこだわる必要はあるのか、小学校は 20 人学級でもよいのではとも考えるが、学級編成は国の方針であり、市単独で決めるのは無理。 ・地域の実情からすれば、学校を残すことが望ましいが、子どものことを考えると、小規模校として残すことがいいのか、又、小中一貫校とする意見もあるが、万能薬とは言えないのではないか。 ・これからの子どもの人数を考えると、統廃合をせざるを得ないのではないか、そのために今から、地域に説明し、理解を得ることが大切である。 ・学校がなくなると、地域が廃れる、地域の実情を十分に理解してもらうことが大切である、その中に若い人や女性（ママ友）からも意見をいただき、地域づくりをどの様に行うか、地域で考えてもらうことが大切である。 <p>今回いただいた意見について、今後も継続して検討していきたい。</p>		